

IV.共修生について

1.共修生とは

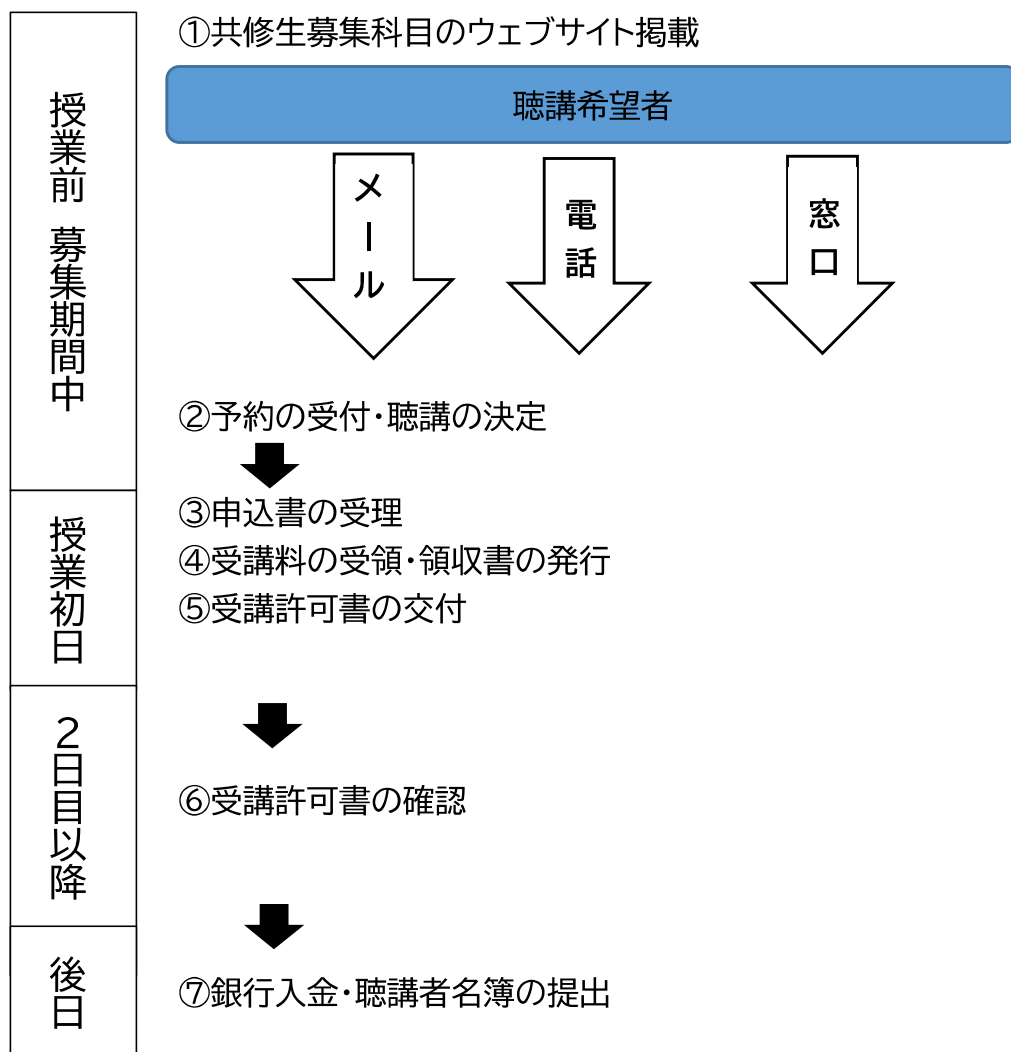
面接授業は、放送大学の学生でない一般の方、大学院生、既に単位を修得した科目について復習したい方向けに、広く聴講できる機会を設けています。

聴講する方を「共修生」と呼び、単位は認定されません。また、試験の受験及びレポートの提出等の義務もありません。

2.共修生の受入れについて

空席がある科目(授業初日が4月24日以前で、追加登録対象としなかった科目含む)は、共修生の受入対象科目となります。

3.事務処理の流れ



4.対応手順

①共修生募集科目のウェブサイト掲載

3月中旬に面接授業係から送付される、共修生募集の対象科目をご確認ください。

4月1日から面接授業ウェブサイト(<https://mensetsu-cnh.ouj.ac.jp/1/co-study/>)へ対象科目を掲載します。学習センターウェブサイトでも適宜ご案内ください。

②予約の受付・聴講の決定

4月1日から授業前日まで予約を受け付けます。なお、在学生の追加登録を優先しますので、聴講可と回答するタイミングにご注意ください。

【聴講可と即時回答】

- ・追加登録の対象となっていない科目(授業日が4月24日以前の科目)
- ・空席が多く、追加登録を募集しても満席とならない見込みの科目

【聴講可否を後日回答】

- ・空席が少なく、追加登録の受付状況の確認が必要な科目
→追加登録当選者決定(4月16日)、又は先着順受付の最終日(原則として講義開始日の7日前)の結果を踏まえ、聴講可否を判断

(A)メールで受付

- ・メールに氏名・住所・連絡先(電話番号／メールアドレス)、聴講希望の科目名、本学学生の場合は学生番号を記載のうえ送信するようご依頼ください。
- ・メール受信後、【様式4】共修生聴講関係書類「共修生聴講者整理表」へご入力ください。
- ・現在の空席状況を確認のうえ、上記の回答タイミングに注意して、聴講可能かご判断ください。
- ・聴講可となったら、メールに「受講料・授業日程・授業初日は手続きのため余裕を持って授業15分前までに来所すること」を記載してご連絡ください。
- ・聴講不可の場合、その旨をメールでご連絡ください。
- ・聴講可否について、共修生聴講者整理表を更新してください。

(B)電話で受付

- ・氏名・住所・連絡先(電話番号／メールアドレス)、聴講希望の科目名、本学学生の場合は学生番号をご確認いただき、【様式4】共修生聴講関係書類「共修生聴講者整理表」へご入力ください。
- ・現在の空席状況を確認のうえ、上記の回答タイミングに注意して、聴講可能かご判断ください。
- ・聴講可となったら、電話(又はメール)で、「受講料・授業日程・授業初日は手続きのため余裕を持って授業15分前までに来所すること」をお伝えください。
- ・聴講不可の場合、その旨をお伝えください。
- ・聴講可否について、共修生聴講者整理表を更新してください。

(C)窓口で受付

- ・氏名・住所・連絡先(電話番号／メールアドレス)、聴講希望の科目名、本学学生の場合は学生番号をご確認いただき、【様式4】共修生聴講関係書類「共修生聴講者整理表」へご入力ください。
- ・現在の空席状況を確認のうえ、上記の回答タイミングに注意して、聴講可能かご判断ください。
- ・その場で聴講可と判断できる場合は、【様式4】共修生聴講関係書類「共修生受講申込書」を渡してください。必要事項を記入のうえ授業初日に持参するよう依頼するとともに、「受講料・授業日程・授業初日は手続きのため余裕を持って授業15分前までに来所すること」をお伝えください。
また、その場で聴講可と判断できない場合は、後日電話(又はメール)で、結果をお伝えください。
- ・聴講不可の場合、その旨をお伝えください。
- ・聴講可否について、共修生聴講者整理表を更新してください。

③申込書の受理

- ・授業初日、来所した予約者に対し、予約の内容(氏名、科目名)を口頭でご確認ください。
- ・予約のない者が聴講希望のため来所した場合は、現在の空席状況を確認のうえ、聴講可否をご判断ください。
- ・【様式4】共修生聴講関係書類「共修生聴講申込書」を提出させ、記入漏れがないかご確認ください。
- ・学生証・その他身分証明書等を提示させ、本人確認してください。

④受講料の受領・領収書の発行

- ・受講料 **6,000** 円(学籍の有無に関わらず共通)を現金で受領してください。
- ・現金と引換えに**領収書**を発行してください。領収書については、【別紙2】領収書の取扱いについてをご参照ください。
- ・出納簿に所定事項を記帳し、他の収入と同様、財務会計システムにてデータ入力を行ってください。

⑤受講許可書の交付

- ・【様式4】共修生聴講関係書類「共修生受講申込書」の受講許可書部分に、聴講を許可する科目名、日程を記入してください。あらかじめ入力・印字済であれば、記入不要です。
- ・【様式4】共修生聴講関係書類「共修生受講申込書」をコピーし、押印(※)のうえ、共修生へお渡しください。原本は学習センターで保存してください。原本は押印不要です。
- ・2日目以降来所の際、必ず受講許可書を携行するようご連絡ください。

※印については、原則、放送大学学園公印規程第3条及び別表第1に定めのある「放送大学〇〇学習センター」の角印としてください。ただし特別な事由がある場合は、正規に許可が証明できるものであれば他の印でも代用可能です。(所長印など。その場合は、受講許可書を所長名に変更してください。)

⑥受講許可書の確認

- ・授業2日目以降、来所した共修生に対し、受講許可書の提示を求めてください。
- 不携帯・紛失等の場合は、本学学生証、身分証明書等により共修生本人であると確認できれば、聴講を許可してください。

⑦銀行入金・聴講者名簿の提出

- ・放送大学学園出納員事務取扱規程第4条の定めるところにより、受講料徴収分を取りまとめて出納主任指定口座(出納員口座(理事長名義))へご入金ください。
 - ・【様式4】共修生聴講関係書類「共修生聴講者名簿」を作成し、財務会計システムに入力したデータと突合して確認のうえ、ファイルストレージへご提出ください。
- <<提出期限>> **8月1日(金)**

5.注意事項

- 共修生は履修登録を行わないため、共修生分の席はシステム WAKABA の空席数に反映されません。正しい空席数を学習センター側で控えてください。
- BYOD科目を聴講する場合、本学学生以外は無線LAN(Wi-Fi)をご利用いただけません。共修生自身で無線LAN(Wi-Fi)環境を準備いただく必要があります。
- 心理学実験も受入れ可能です。(心理と教育コースの担当教員からは「心理学に関心を持つ地元の方などに門戸を広げて、それをきっかけに放送大学に関心を持ってもらえれば、とても良いことだと思います。」とのコメントをいただいております。)
- 学研災への加入が必要な科目も受入れ可能です。
ただし、学研災に加入はできません。そのため、以下の記載がある【様式4】共修生聴講関係書類「共修生受講申込書(実験・実習用)」を使用し、事前にご了承いただいた上で共修生を受け付けてください。
※申請書に記載されている注意事項
実験・実習を伴う授業において、共修生本人の責による受傷等があった場合は、本学では責任を負いません。
- 名誉学生は面接授業の無料聴講が可能です。受入れにあたっては、担当講師の許可を得て、名誉学生証を確認してください。名誉学生の無料聴講については、面接授業係への報告は不要です。